

1 活動名

Face Time を利用した出前授業

2 対象

- ・小学部 4年生・6年生（単一学級）

3 内容と取組の様子

- ・本校は病院に入院・治療中の児童生徒の在籍する学校であることにより、新型コロナウイルスの影響がある今年度、校外学習の実施が難しい状況でした。さらに感染予防から、外部講師と直接の対面を避けるという時期でもあり、校内でのリモートによる外部講師の授業を、対話的活動を取り入れながら行った。また、肢体不自由児学級と病弱児学級の児童同士の同室学習ができないことや、病棟で学習を行っている児童がいることから、児童は3カ所に分かれて授業を受けた。欠席児童のための録画も行ったため、機材と教員がそれぞれの場に必要であった。



4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)

iPad（7台）※録画用を含む

移動型大型TV・電子黒板（4台） 携帯型WiFi 【病棟で使用】（1台） AppleTV（4台）

Face Time を使用

5 おすすめポイント

- ・今回天文台より講師の方に来校いただいたが、天文台内からの出前授業も可能のようだった。
- ・様々なツールやデジタル教材を使っでの授業が可能であるが、児童にとって専門の方に授業をしていただくという経験がなにより貴重であった。
- ・病棟の違う児童同士が同じ授業を受けることで、連帯感が生まれ今後の学部内の活動に生かすことができる場となった。

6 さらに工夫したいこと

- ・今後は児童用 iPad を使用し、個人毎に事前学習したことや感想など講師と直接やりとりをするなど、さらに学習環境を整え、実践していく場を試行していきたい。
- ・体験的学習として位置付けている従来の校外学習であるが、昨年度から実施できていない状況にある。間接的ではあるが、今回のような ICT 機器活用をしての学習をどう捉えていくか、小学部教員で情報を共有しながら、来年度の学習計画に生かしていきたい。